

断熱床下収納庫施工説明書

工事店様へ

機器を正しく据え付けていただくためにこの説明書をよくお読みください。
施工説明書及び、取扱説明書は紛失や汚れのないよう保管し、工事終了後、必ずお客様へお渡しください。

必ずお守りください

絵表示について

この施工説明書では、製品を正しく据え付けしていただき、お客様への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

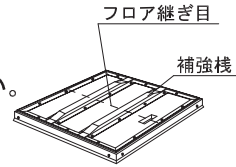
注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定されます。

! この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

注意

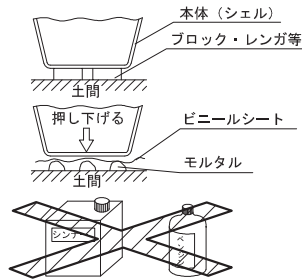
! 補強棧は必ずふた板の木目に直角に取り付けてください。またふた板のフロアに継ぎ目がある場合には木目の方向に関係なく継ぎ目に対して直角に補強棧を取り付けてください。ふた板の強度が不足しますと、開口部に転落してけがをするおそれがあります。



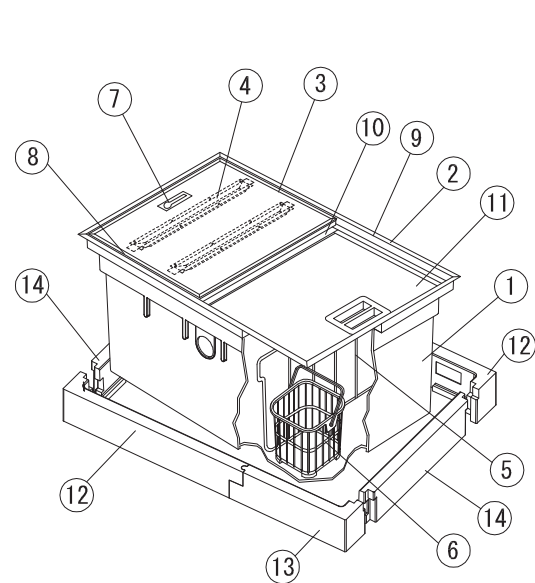
● 収納庫の場合、ブロック、レンガ等で本体底部を受けてください。収納物の重量で本体が変形するおそれがあります。

● 収納庫の本体をモルタルで受ける場合は、ビニールシートなどを間に入れてください。

● 収納庫の本体は樹脂製ですので火気の使用や溶剤の使用に注意してください。



各部の名称



部品番号	部品名称	員数
①	本体900Y	1
②	アルミ外枠	1
③	アルミふた枠	2
④	補強棧600	4
⑤	仕切板	1
⑥	網カゴ	1
⑦	回転取手・取手カバー	2
⑧	外枠用パッキン ※1	1set
⑨	ふた枠用パッキン ※2	1set
⑩	中棧	1
⑪	中蓋断熱材90	2
⑫	補助根太断熱材9K-L	2
⑬	補助根太断熱材9K-S	2
⑭	補助根太断熱材6D	2
⑮	D固定具	6

附属部品

	部品名称	員数
回転取手用	皿小ねじ M4×16 [M4×22]	4
外枠用	皿タッピングねじ 4×30	10
蓋枠用	なべタッピングねじ 4×12	24
	皿小ねじ M3×4	4
補強棧用 ※3	なべタッピングねじ 4×12	32
D固定具用 ※4	コーススレッドラッパ 3.8×57	6

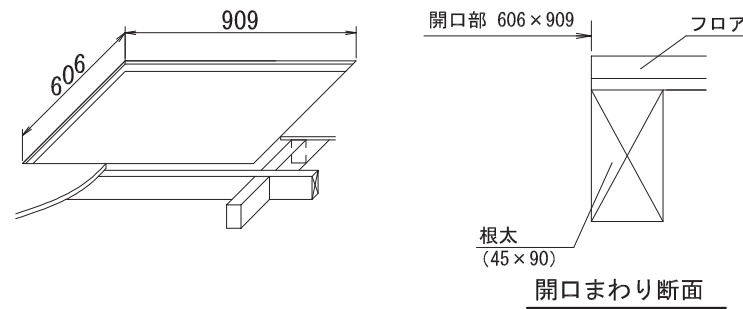
※1：アルミ外枠に貼付済です。 ※2：アルミふた枠に貼付済です。 ※3：補強棧包装ポリ袋内に補強棧1本につきビス8本が同梱されています。 ※4：D固定具包装ポリ袋内に同梱されています。

900タイプ用 (ふた板15mm厚・21mm厚 共通)

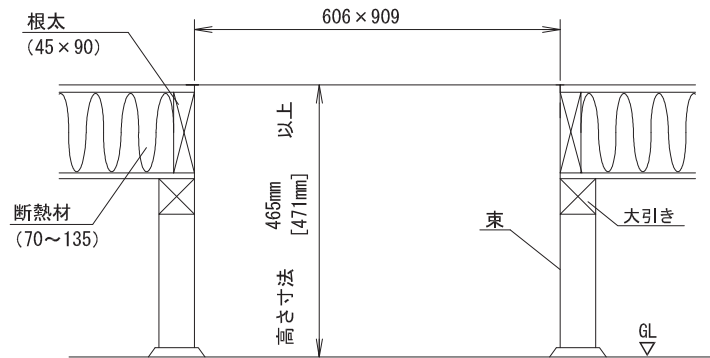
※ふた板の厚みが21mmの場合は本書にある[]内の内容をご参照願います。

施工方法① 床の開口

1. 床に開口部を設け、開口部の周囲に根太 (45×90) を取り付けてください。根太は床面からの荷重に耐えられるよう大引き、束の新設をしてください。

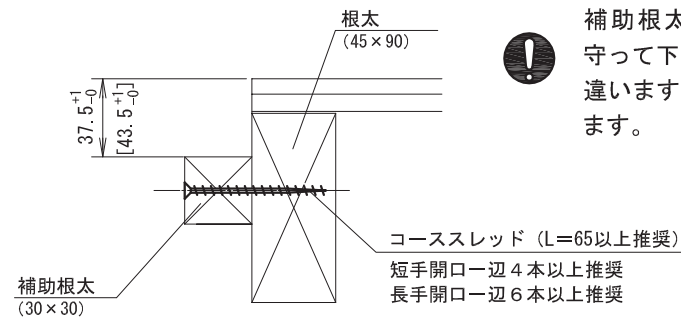


2. 床面から土間までの高さは465[471]mm以上確保してください。



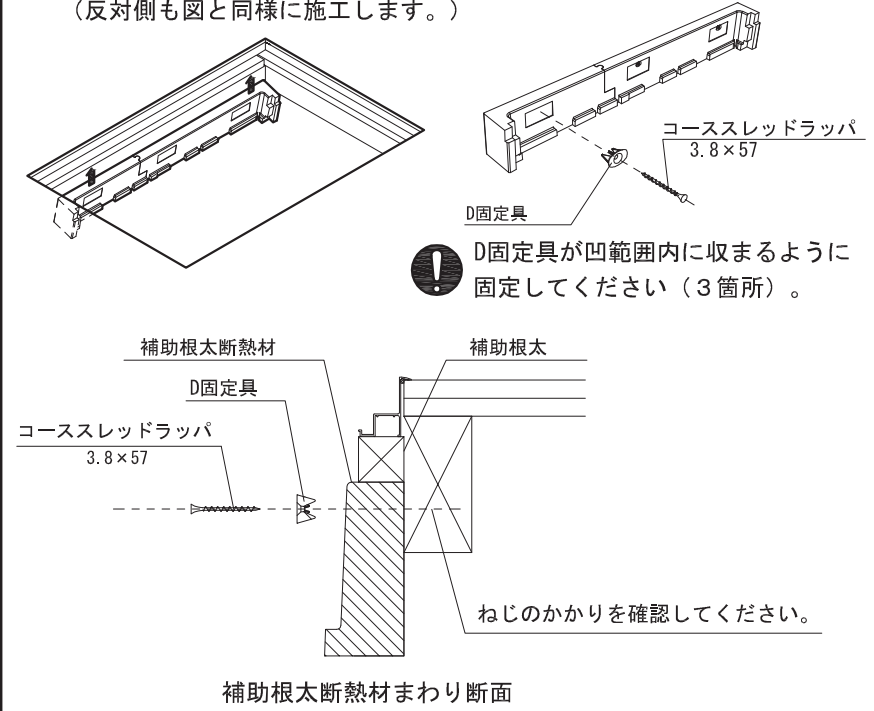
施工方法② 補助根太断熱材の取付

3. アルミ枠取付用の補助根太口30角をフロア面より37.5[43.5]⁺¹₋₀mmの高さに取り付けてください



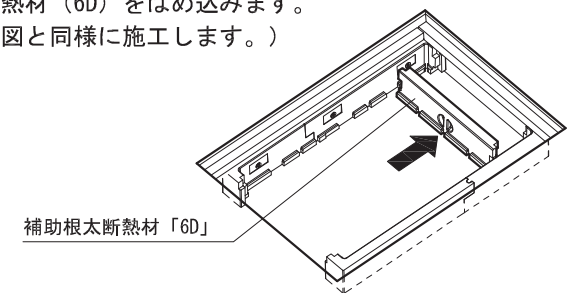
! 補助根太の取付高さ寸法は必ず守って下さい。取付高さ寸法が違いますと、不良の原因となります。

4. 補助根太断熱材を補助根太に押し当てながらD固定具で固定します。(反対側も図と同様に施工します。)



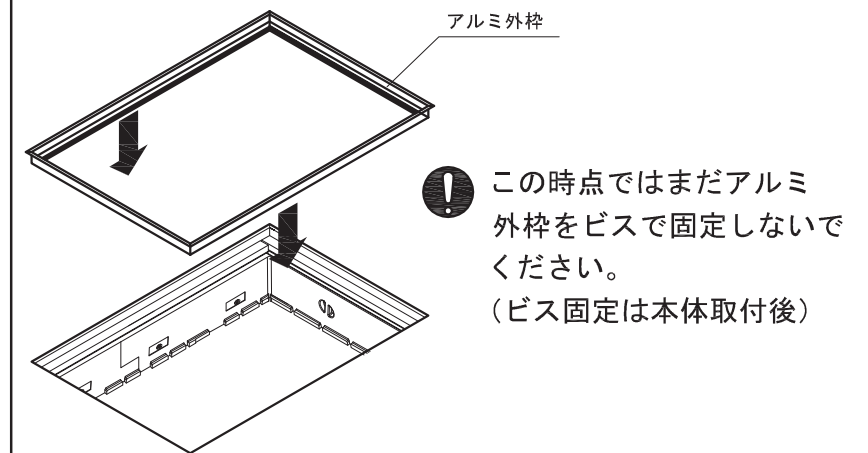
! **注意**
コーススレッドラッパを締めすぎないでください。補助根太断熱材が破損する恐れがあります。

5. 補助根太断熱材 (6D) をはめ込みます。(反対側も図と同様に施工します。)



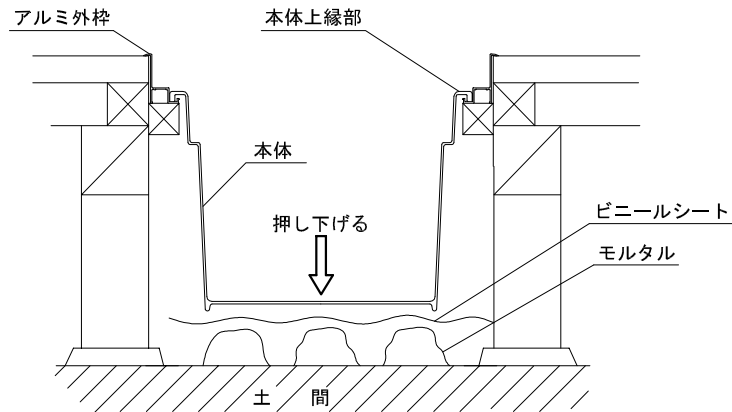
施工方法③ アルミ外枠の取付

6. アルミ外枠を開口部にはめ込みます。



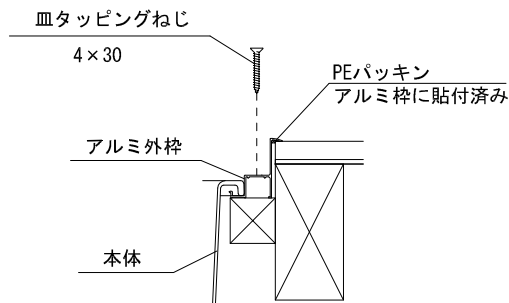
施工方法④ 本体の取付

7. 本体をアルミ枠に設置します。本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。本体設置の際はブロック、レンガなどで本体底部を受けてください。モルタルで受ける場合は、モルタルが直接本体底部に密着しないよう下図のように、ビニールシートなどを間にしてください。



注意 本体がアルミ外枠より浮き上がらない様に押し下げてください。浮き上がると、本体のガタツキの原因になります。

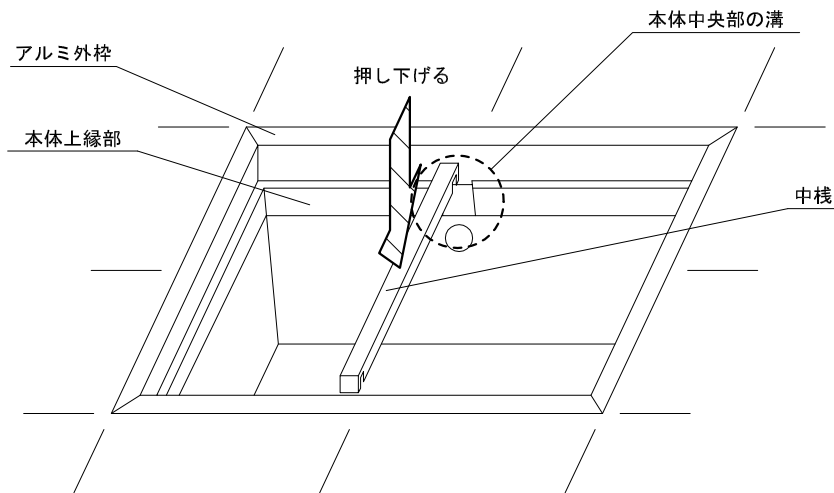
8. アルミ外枠を皿タッピングねじで補助根太に固定します。(PEパッキンは、貼付済み。)



注意

皿タッピングねじは強く締めすぎないでください。アルミ枠が変形する恐れがあります。

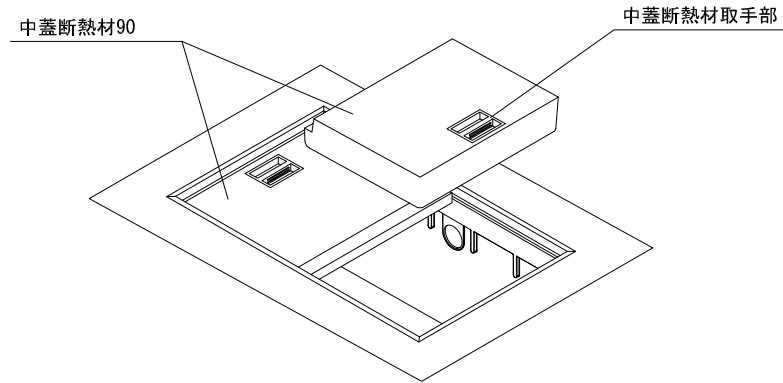
9. 本体をアルミ枠に設置した後、本体中央部の溝に中棧をはめ込んでください。



注意 本体と中棧が正しく設置されているか確認してください。本体、中棧に浮きがありますとふたをのせた時、ガタツキが発生します。

施工方法⑤ 中蓋断熱材の取付

10. 本体に中蓋断熱材をはめ込みます。中蓋断熱材の取手部が本体の外側を向くようにして中蓋断熱材を本体にはめ込んでください。



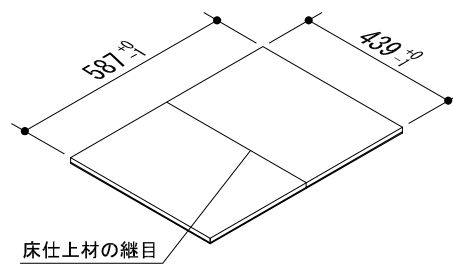
施工方法⑥ ふたの組立

11. ふた板（現場調達）を組み立てます。

ふた板の取り付けは下図のような要領でおこなってください。ふた板の厚みは14.5[20.5]mm以上が必要です。12mm厚の床板の場合は、3[9]mmの厚み調整板（合板等 | 現場調達）を接着してください。接着剤は接着面全面に塗布して十分な強度を保つようにしてください。

注意 ふた板の厚みが不足していると不良の原因となりますので上記の厚みになるように必ずふた板の厚みを確保してください。

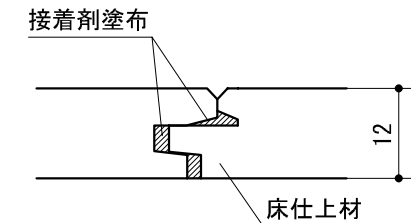
- ① 床仕上材（フローリング等）のカット



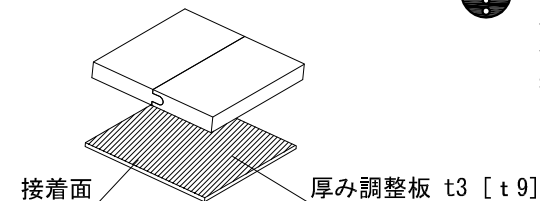
床仕上材の継目

- ② サネ部の接着

※フローリングと同一の接着剤（変性シリコン樹脂系）を使用してください。

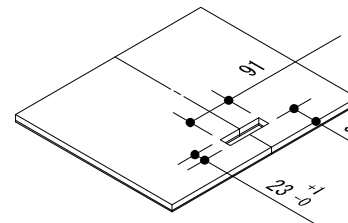


- ③ 厚み調整用合板の貼付



※ヘラ等で全面に均一に塗布する。

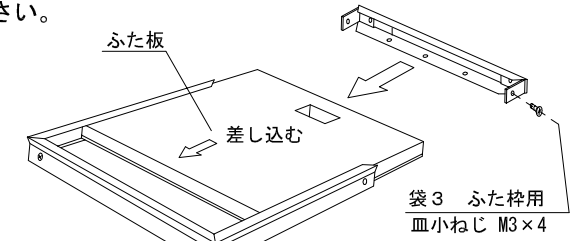
12. ふた板に回転取手用の穴加工を行って下さい。



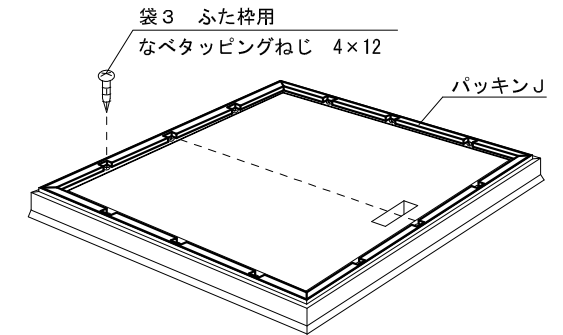
注意

取手穴は必ず長手方向に加工してください。短手方向に加工しますと、補強棧が取付けられなくなります。

13. アルミふた枠の1辺が外れるようになっておりますので、12で作成したふた板を差し込み、取り外したアルミ枠を2箇所アルミ枠側面より固定してください。

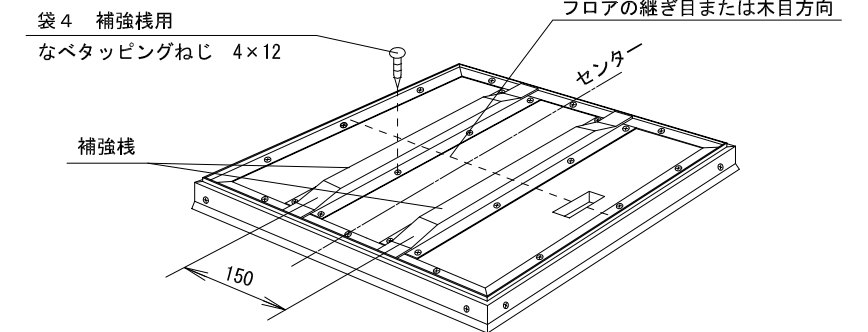


14. 枠組みが終わったら、ふた板裏面より付属品のなべタッピングねじで12箇所アルミ枠とふた板を固定してください。(パッキンJは、貼り付け済み。)



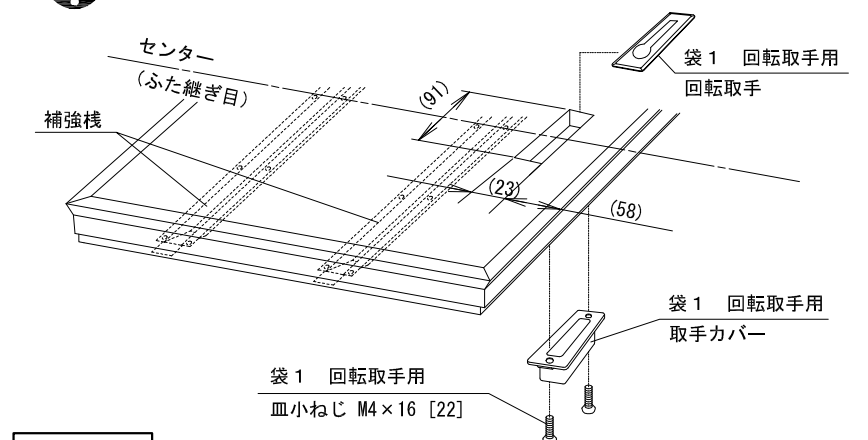
15. 補強棧をふた裏面に取り付けます。

注意 ふた板のフロアに継ぎ目のある場合には、図のように継ぎ目に対して直角に補強棧を取り付けてください。



16. 最後に、回転取手をねじで取り付けます。

注意 手回しドライバーで固定してください。



お願い

本施工説明書及び同梱の取扱説明書は、施主様にお渡しください。